



若き心

集まるところ 3月 (N015)

茅ヶ崎市立鶴が台中学校校長 山口 茂

令和4年3月25日

3月25日に終業式を行いました

終業式では、代表の生徒に修了証をお渡ししました。これで、1年生、2年生の皆さんは、それぞれの過程を無事修了したことになります。4月からは、新しい学年に進級し自分の目標に向かって頑張ってください。

終業式で生徒の皆さんにお話したこと

1年生の皆さんは、2月25日(金)に「インクルーシブ教育」の講演会をオンラインで行いました。その中で講師の先生が「互いの違いを認め合い、尊重し合い、全員が幸せに生活する“共生社会”にしていきましょう」とお話しされていました。また、共生社会を実現するために、「思い込みや固定観念をなくしていくことが大切です」ともおっしゃっていました。

身近な例で考えてみましょう。学校生活において、互いの違いを認め合い尊重し合う必要があることの一つとして、女子と男子があると思います。

生物学的に言えば、女子と男子は違う役割をもっています。しかし、トイレや内科検診の他に、学校での生活の中で女子と男子を区別する場面はどのくらい必要なのでしょう。鶴が台中学校で何気なく生活している中で、思い込みや固定観念で女子と男子を区別していることってたくさんあるのではないのでしょうか。

例えば、終業式のために皆さんは女子と男子が別々に並んでいますよね。これって男女で分かれる必要がありますか。

鶴が台中学校は、不必要な男女の区別をなくし、女子と男子が互いを尊重し合うことができる学校を目指していこうと思っています。その第一歩として、令和4年度から式典や集会などで男女別で整列することをやめます。

これは、共生社会実現に向けての小さな一歩です。これから、先生方と生徒の皆さんとで力を合わせて、いろいろなところで男女を区別していることに対して「これって男女で分けている意味がある？」と疑問を持っていきましょう。そうして、深い意味もなく“これまでやってきたから”などの理由で男女を分けているのであれば、そうした区別はなくしていきましょう。

ひとつひとつのできごとは小さなことかもしれませんが、皆さんで知恵を出し合って、鶴が台中学校を差別のない生活しやすい学校にしていきましょう。

令和3年度 学校評価アンケート まとめ

12月下旬に生徒、保護者、教員を対象に「学校評価アンケート」を実施いたしました。結果をまとめたものを3月2日(水)に行われた「学校評議員会」で話し合いました。

まず、「楽しく安心した学校生活が送れていますか」という質問に対して、生徒・保護者の約9割が肯定的な回答をしています。今年度の目標の1つである「安心して通える学校」について、おおむね実現できましたが、すべての生徒が安心して生活できる学校にするために残る1割の生徒に目を向け、自分らしくいられる学校にしていく必要があると考えます。

「教育相談」については、生徒・保護者ともに9割弱の方が“丁寧に対応してもらっている”と回答しています。また、生徒間のトラブルに“迅速に対応している”と約9割の保護者が認めてくれています。この数字に甘えず、4月からも教育相談を充実させ、生徒が楽しく安心して学校生活

を送ることができるようにしていきたいと思っています。

授業に関しては「先生たちは教え方を工夫している」と答えた生徒が9割いるのに対して、保護者は7割弱でした。これは、コロナの対策で授業参観が思うようにできなかったことが原因だと思われます。コロナ禍でも、授業の様子をご家庭に伝えていく工夫をすることが必要です。

授業で大切にしている「話を聴くこと・分かりやすく話すこと」に対しては、聴くことはできるが、自分の考えを伝えるところまで至っていない生徒が多くいることが分かりました。来年度は「自分の考えを伝える」ことに重点を置いて授業や学級活動、委員会活動、学校行事などを展開していきたいと思っています。

授業以外の面での職員の指導に対しては、「よいことをしたり努力したりしたときはほめてくれる」や「まちがったことをしたとき、きちんと指導してくれる」の質問に対して多くの生徒が肯定的な回答をしています。来年度も、生徒の良いところを褒め、自己肯定感を高めるとともに、ダメなことはダメとメリハリをつけた生徒指導を心がけていきます。

委員会活動や部活動に対しては、どちらに対しても95%の生徒が“活発に行われている”と答えています。コロナ禍でいろいろな制限がある中、生徒たちが我慢をしながらも努力をしていることが分かります。しかし、部活動については「教員の働き方改革」の観点からみると、少しずつ縮小していかざるを得ません。生徒のニーズと教員の多忙化解消の狭間で、一中学校だけで解決させることが難しい問題なので、教育委員会も含めて茅ヶ崎市の部活動の在り方について考えていく必要があると思います。

「ルールやマナーを守っている」「進んで挨拶をしている」「朝読書の時間にしっかり読書をしている」「積極的に掃除に取り組んでいる」「基準服やジャージを正しく着ている」などの基本的な生活習慣については肯定的な回答が圧倒的でした。現在の鶴が台中学校の落ち着いた雰囲気がこのような結果からもわかります。

評価のされ方について「どのように評価されて成績がついているか知っている」という質問に対して、生徒・保護者の約8割が“知っている”と答えています。逆に見て、2割(90人)がよくわかっていない状況であることを見逃してはいけなと思います。年度はじめだけでなく、長期休業の後や、学期のはじめ、各単元をスタートするときなど、1年間に何回も評価の仕方を説明し、生徒が評価の仕方を十分に理解し、どのように努力したらよいか分かったうえで授業に参加できるようにすべきだと思います。

火災や地震などの非常事態のときに“どうすればよいかよくわかっている”と回答している生徒が94%いました。これはかなり高い数値ですが、命にかかわることなので、来年度は100%になるようより一層の努力をしていきたいと考えています。

あいさつボランティアや行事のボランティアなどについて“知っている”と答えた保護者は9割を超えていました。また、“オープンスクールを実施していることを知っている”や“学校行事や授業参観に参加している”と答えた保護者が9割程度いて、保護者の学校に対する関心の高さがうかがえます。次年度は、コロナの感染状況と相談しつつできる限り、授業や行事をオープンにしていきたいと思っています。

「学級通信や学校だよりで、学校の教育方針や学校の様子ができる」と回答している保護者も多くいて、保護者が学校からの便りに目を通してくださっていることがわかります。今年度コロナによる影響で“緊急保護者メール”や“学校のホームページ”を活用せざるを得ない状況でしたが、保護者にとっては学校からの情報を得る有力な手段になったようで好評でした。来年度以降も、このような情報発信の方法を駆使していきます。

保護者からの回答でうれしかった点として「学校は校舎内外の環境美化に努めている」と回答してくださった保護者が94%もいました。校舎内外の美化は、地域の皆様のお力添えがあつてのことだと思っております。

また、「LGBTに対応するために基準服を変更する」ことを“よいことである”と回答した保護者が9割いました。多くの保護者の賛同を得られて、基準服の変更をすすめることができます。

1年間、学校だよりをお読みいただきまして、ありがとうございます。令和4年度も毎月、月のはじめに発行していきたいと思っています。また、学校だよりはホームページにも掲載いたしますので、そちらでも、ご覧いただけます。今回の学校だよりは、3年生には「緊急メール」でURLを送信しホームページ上でご覧いただくことにしております。



若き心

集まるどころ 4月 (NO1)

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 山口 茂

令和4年4月5日

入学おめでとう

進級おめでとう

いよいよ令和4年度がスタートしました。4月1日から、皆さんをお迎えするために職員一同心を込めて始業式と入学式の準備を進めてまいりました。皆さんにとっても新しいスタートの日ですね。新しいクラスでそれぞれの力を思い切り発揮してもらえるとよいと思います。

今年度から、鶴が台中学校に特別支援学級として「7組」が開設されます。地域の生徒が地域の学校で一緒に学習する、そのような形に一步近づきました。また、終業式でもお話ししました通り鶴が台中学校は、差別につながる“不必要な区別”をなくしていくことに取り組みます。生徒の皆さんと保護者の皆様、そして教職員が力を合わせて、思い込みや決めつけ、固定観念にとらわれず、一人ひとりの違いを認め合い、互いに尊重し合い、皆が幸せに生活できるような学校を目指していきましょう。

4月の人事異動で、本校を去られた先生方と新しく本校にいらした先生方を紹介いたします。

離任された先生方には、多年にわたり本校の生徒のためにご尽力いただきました。ありがとうございました。

新しく着任された先生方、これから力を合わせて台中のために頑張ってください。

離任された先生方

新しく着任された先生方

| | | | | | |
|-------|------------|----------|-------|------------|----------|
| 尾木左紀子 | 教頭 | 浜須賀中学校へ | 齋藤 英紀 | 教頭 | 教育センターから |
| 瀬戸万里江 | 教諭 | 松浪中学校へ | 太田 順子 | 教諭 | 育休から復帰 |
| 生野 朝子 | 教諭 | 北陽中学校へ | 菅又 颯 | 教諭 | 第一中学校から |
| 山本 智子 | 教諭 | 退職 | 柴丸 貴 | 教諭 | 初任者 |
| 森 高俊 | 特別支援非常勤教諭 | 退職 | 梅谷 美友 | 教諭 | 初任者 |
| 原 陽子 | スクールカウンセラー | 本校の勤務はなし | 宮崎 里菜 | 教諭 | 初任者 |
| 関屋あや子 | 学校司書 | 退職 | 松延 裕子 | 再任用 | 浜須賀中学校から |
| 重岡 理恵 | 日本語指導員 | 本校の勤務はなし | 亀田 春彦 | 拠点校指導員 | 松浪中学校から |
| | | | 鈴木真美子 | ふれあい補助員 | 第一中学校から |
| | | | 川口ひろみ | スクールカウンセラー | 中島中学校から |
| | | | 石井 恵子 | 学校司書 | 円蔵小学校から |

令和4年度の学校職員の紹介

校長 山口 茂

教頭 齋藤 英紀

| 1年 | | | 2年 | | | 3年 | | |
|----|--------|------|----|-------|------|----|-------|------|
| 主任 | 佐藤 さくら | 保健体育 | 主任 | 阿部 敏 | 社会 | 主任 | 塚本 明子 | 理科 |
| 1組 | 甲斐 隆勢 | 国語 | 1組 | 山本 有城 | 数学 | 1組 | 大丸 拓朗 | 保健体育 |
| 2組 | 菅又 颯 | 社会 | 2組 | 中村 莉菜 | 国語 | 2組 | 長谷川美和 | 国語 |
| 3組 | 近藤 英 | 数学 | 3組 | 宮崎 里菜 | 英語 | 3組 | 隈部 友太 | 英語 |
| 4組 | 梅谷 美友 | 家庭 | 4組 | 稲田 仁郎 | 保健体育 | 4組 | 井上 恵梨 | 数学 |
| 副担 | 杉本 徳子 | 理科 | 副担 | 鈴木 眞幸 | 理科 | 副担 | 竹田 雄亮 | 社会 |
| 副担 | 奥村 唯香 | 英語 | 副担 | 吉野ともえ | 養護教諭 | 副担 | 柴丸 貴 | 数学 |
| | | | | | | 副担 | 横川 隆太 | 音楽 |

| | |
|----|-------|
| 7組 | 松延 裕子 |
| 7組 | 柳沢 優太 |

| | |
|------------|---|
| 学年外の先生方 | 太田 順子 (美術)・井上 純一 (技術)・亀田 春彦 (初任研拠点校指導員) 林 絵美 (英語・育休中) |
| 事務室関係 | 大澤 拓己 (事務主事)・井出三津子 (教育施設業務員) 岡崎 美香 (教育施設業務員)・安部 康代 (教育施設業務員) |
| 特別支援担当 | 杉本 香 |
| ふれあい補助員 | 小林 美樹・赤池亜希子・鈴木真美子・宮田 忠夫 |
| 心の教育相談員 | 森 潤子 |
| スクールカウンセラー | 川口ひろみ |
| 学校司書 | 石井 恵子 |

部活動顧問一覧

| | | |
|-----|-------------|------------------------|
| 運動部 | 野球 | 大丸 拓朗・竹田 雄亮 |
| | サッカー | 甲斐 隆勢・山本 有城 |
| | 陸上競技 | 柴丸 貴・柳沢 優太 |
| | ソフトボール | 鈴木 眞幸・塚本 明子 |
| | ソフトテニス (男女) | 稲田 仁郎・長谷川美和・阿部 敏・杉本 徳子 |
| | 男子バスケットボール | 佐藤 さくら・中村 莉菜・吉野ともえ |
| | 女子バスケットボール | 隈部 友太・中村 莉菜・吉野ともえ |
| | 女子バレーボール | 梅谷 美友・中村 莉菜・吉野ともえ |
| | 剣道 | 菅又 颯・奥村 唯香 |
| | 卓球 | 宮崎 里菜・近藤 英・井上 恵梨 |
| 文化部 | 吹奏楽 | 横川 隆太・井上 恵梨 |
| | 書道 | 長谷川美和・甲斐 隆勢 |
| | 美術 | 太田 順子・奥村 唯香 |
| | 将棋 | 吉野 ともえ・阿部 敏 |
| | 家庭 | 杉本 徳子・松延 裕子 |